

【1】「学習指導要領解説（平成29年7月）特別の教科 道徳編」に記載されている道徳教育と「特別の教科 道徳」（道徳科）について、次の問いに答えよ。

（1）道徳教育の目標について、次の（ ）に入る言葉を①～⑤から選び、番号で答えよ。

道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、自己の（*人間としての）生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる（ ）を養うことを目標とする。

（*は、中学校、特別支援学校中学部に追加）

① 系統性 ② 人間性 ③ 社会性 ④ 道徳性 ⑤ 規則性

1

（2）道徳科の指導の基本方針について、誤りのあるものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 教師と児童生徒、児童生徒相互の信頼関係を基盤におく。
- ② 道徳教育推進教師を中心とした指導体制の充実を図る。
- ③ 児童生徒の発達や個に応じた指導を工夫する。
- ④ 道徳科の特質を理解した上で行う。
- ⑤ 道徳科の授業は、校長や教頭、他の教師との協力的指導のもと、担任のみで行うものである。

2

（3）道徳科の評価において留意すべきことの中で、誤りのあるものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 児童生徒がいかに成長したかを積極的に受け止め、認め、励ます評価を行う。
- ② 他の児童生徒と比較し、文章記述による評価を行う。
- ③ 児童生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握する。
- ④ 道徳科の評価は、入学者選抜の可否判定に活用しない。
- ⑤ 授業者自らが授業中のメモ、板書の写真、録音、録画などによって、学習指導過程や指導方法を振り返ることも大切である。

3

【2】 中学校学習指導要領解説（平成29年7月）、保健体育編に関する内容について、次の問いに答えよ。

(1) 次の文は、陸上競技の第1学年及び第2学年に関する記述である。文中の(ア)～(エ)にあてはまる語句の正しい組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

短距離走・(ア)では、(イ)動きで速く走ることやバトンの受渡しでタイミングを合わせる
こと、長距離走では、(ウ)を守って走ること、ハードル走では、(エ)な走りから滑ら
かにハードルを越すこと。

- | | | | | |
|---|--------|--------|-------|---------|
| ① | ア リレー | イ 滑らかな | ウ ペース | エ リズミカル |
| ② | ア 中距離走 | イ 迅速な | ウ 距離 | エ スムーズ |
| ③ | ア リレー | イ 迅速な | ウ ペース | エ リズミカル |
| ④ | ア 中距離走 | イ 滑らかな | ウ 距離 | エ スムーズ |
| ⑤ | ア リレー | イ 迅速な | ウ 距離 | エ リズミカル |

4

(2) 次の文は、水泳の第1学年及び第2学年に関する記述である。文中の(ア)～(エ)にあてはまる語句の正しい組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

水泳は、(ア)、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライなどから構成され、浮く、呼吸をする、(イ)
などのそれぞれの技能の組合せによって成立している運動で、それぞれの泳法を身に付け、続けて
(ウ)泳いだり、(エ)泳いだり、競い合ったりする楽しさや喜びを味わうことのできる運動
である。

- | | | | | |
|---|--------|------|--------|-------|
| ① | ア 自由形 | イ 潜る | ウ ゆっくり | エ 大きく |
| ② | ア クロール | イ 進む | ウ 長く | エ 速く |
| ③ | ア 自由形 | イ 進む | ウ 長く | エ 速く |
| ④ | ア クロール | イ 潜る | ウ ゆっくり | エ 速く |
| ⑤ | ア 自由形 | イ 潜る | ウ 長く | エ 大きく |

5

- (3) 次の文は、武道に関する内容の取扱いについての記述である。文中の(ア)～(エ)にあてはまる語句の正しい組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

武道の運動種目は、柔道、剣道又は(ア)のうちから(イ)種目を選択して履修できるようにすることとしている。

なお、学校や地域の実態に応じて、(ウ)、なぎなた、弓道、合気道、少林寺拳法、銃剣道などについても履修させることができることとしているが、原則として、柔道、剣道又は相撲に(エ)履修させることとする。

- | | | | | | | | | |
|---|---|-----|---|---|---|-----|---|-----|
| ① | ア | 空手道 | イ | 2 | ウ | 空手道 | エ | 替えて |
| ② | ア | 相撲 | イ | 2 | ウ | 柔術 | エ | 替えて |
| ③ | ア | 空手道 | イ | 1 | ウ | 柔術 | エ | 加えて |
| ④ | ア | 相撲 | イ | 1 | ウ | 空手道 | エ | 加えて |
| ⑤ | ア | 相撲 | イ | 1 | ウ | 柔術 | エ | 加えて |

6

- (4) 次の文は、ダンスに関する内容の取扱いについての記述である。文中の(ア)～(エ)にあてはまる語句の正しい組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

ダンスの領域は、第1学年及び第2学年においては、(ア)に履修させることとした。また、第3学年では、(イ)、水泳、陸上競技及びダンスのまとまりの中から(ウ)領域以上を選択して履修できるようにすることとしている。

したがって、(エ)を作成するに当たっては、3年間の見通しをもって決める必要がある。

- | | | | | | | | | |
|---|---|-------|---|------|---|---|---|------|
| ① | ア | 全ての生徒 | イ | 器械運動 | ウ | 1 | エ | 指導計画 |
| ② | ア | 男子 | イ | 球技 | ウ | 2 | エ | 指導案 |
| ③ | ア | 女子 | イ | 器械運動 | ウ | 2 | エ | 指導案 |
| ④ | ア | 全ての生徒 | イ | 球技 | ウ | 1 | エ | 指導計画 |
| ⑤ | ア | 女子 | イ | 器械運動 | ウ | 1 | エ | 指導計画 |

7

- (5) 次の文は、体育分野の各領域別授業時数についての記述である。文中の(ア)～(エ)にあてはまる語句の正しい組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

体育分野の各領域への授業時数の配当については、「A体づくり運動」と「H体育理論」については、豊かなスポーツライフの実現に向けて基盤となる学習であることから、引き続き、授業時数として、「A体づくり運動」については、各学年で(ア)単位時間以上を、「H体育理論」については、各学年で(イ)単位時間以上を配当することとした。また、「(ウ)」から「Gダンス」までの領域の授業時数は、その内容の(エ)を図ることができるよう考慮して配当することとした。

- | | | | | |
|---|------|-----|---------|-------|
| ① | ア 12 | イ 3 | ウ B器械運動 | エ 系統化 |
| ② | ア 7 | イ 6 | ウ E球技 | エ 習熟 |
| ③ | ア 7 | イ 3 | ウ B器械運動 | エ 習熟 |
| ④ | ア 9 | イ 6 | ウ E球技 | エ 系統化 |
| ⑤ | ア 12 | イ 3 | ウ E球技 | エ 系統化 |

8

- (6) 次の文は、部活動の意義と留意点等についての記述である。文中の(ア)～(エ)にあてはまる語句の正しい組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

運動部の活動は、スポーツに(ア)をもつ同好の生徒が、スポーツを通して交流したり、より高い水準の(イ)や記録に挑戦したりする中で、スポーツの楽しさや喜びを味わい、豊かな(ウ)を経験する活動であるとともに、体力の向上や健康の(エ)にも極めて効果的な活動である。

- | | | | | |
|---|----------|------|-----------|------|
| ① | ア 興味と関心 | イ 知識 | ウ 学校生活 | エ 増進 |
| ② | ア 魅力と楽しみ | イ 技能 | ウ スポーツライフ | エ 増進 |
| ③ | ア 興味と関心 | イ 技能 | ウ 学校生活 | エ 増進 |
| ④ | ア 魅力と楽しみ | イ 知識 | ウ 学校生活 | エ 維持 |
| ⑤ | ア 興味と関心 | イ 技能 | ウ スポーツライフ | エ 維持 |

9

(7) 次の文は、体づくり運動の第1学年及び第2学年についての記述である。文中の(ア)～(エ)にあてはまる語句の正しい組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

体づくり運動は、(ア)の運動と体の動きを高める運動及び(イ)に生かす運動の計画で構成され、(ウ)の心と体に向き合って、体を動かす楽しさや(エ)を味わい、心と体をほぐしたり、体の動きを高める方法を学んだりすることができる領域である。

- | | | | | |
|---|--------|-------|------|--------|
| ① | ア 体ほぐし | イ 実生活 | ウ 自他 | エ 心地よさ |
| ② | ア 体づくり | イ 柔軟性 | ウ 自分 | エ 喜び |
| ③ | ア 体ほぐし | イ 実生活 | ウ 自分 | エ 心地よさ |
| ④ | ア 体づくり | イ 柔軟性 | ウ 自他 | エ 心地よさ |
| ⑤ | ア 体ほぐし | イ 実生活 | ウ 自他 | エ 喜び |

- (8) 次の文は、球技の第1学年及び第2学年についての記述である。文中の(ア)～(エ)は①～⑤から、(オ)～(ク)は⑥～⑨からそれぞれあてはまる語句の正しい組合せを選び、番号で答えよ。

次の運動について、(ア)を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の(イ)や行い方、その運動に関連して(ウ)などを理解するとともに、基本的な技能や(エ)と連携した動きでゲームを展開すること。

- ・ゴール型では、(オ)と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすること。
- ・ネット型では、ボールや用具の操作と(カ)に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。
- ・(キ)型では、基本的な(ク)と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすること。

- | | | | | |
|---|------|------|----------|----------|
| ① | ア 技能 | イ 習得 | ウ 高まる体力 | エ 仲間 |
| ② | ア 勝敗 | イ 名称 | ウ 習得する技術 | エ ボールの動き |
| ③ | ア 技能 | イ 習得 | ウ 習得する技術 | エ 仲間 |
| ④ | ア 勝敗 | イ 名称 | ウ 高まる体力 | エ ボールの動き |
| ⑤ | ア 勝敗 | イ 名称 | ウ 高まる体力 | エ 仲間 |

11

- | | | | | |
|---|----------|-------|----------|-----------|
| ⑥ | オ チームプレー | カ 基本 | キ ベースボール | ク キャッチボール |
| ⑦ | オ ボール操作 | カ 基本 | キ ソフトボール | ク バット操作 |
| ⑧ | オ チームプレー | カ 定位置 | キ ソフトボール | ク キャッチボール |
| ⑨ | オ ボール操作 | カ 定位置 | キ ベースボール | ク バット操作 |

12

- (9) 次の文は、体育理論の第1学年及び第2学年についての記述である。文中の(ア)～(エ)にあてはまる語句をA～Eの正しい組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

体育理論の内容は、体育分野における(ア)や保健分野との関連を図りつつ、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成するため、第1学年では、(イ)を、第2学年では、(ウ)を、第3学年では(エ)を中心に構成されている。

- A 体力の向上
- B 運動の実践
- C 文化としてのスポーツの意義
- D 運動やスポーツの多様性
- E 運動やスポーツの効果と学び方

- ① ア B イ D ウ C エ E
- ② ア A イ D ウ E エ C
- ③ ア B イ E ウ C エ D
- ④ ア A イ E ウ D エ C
- ⑤ ア B イ D ウ E エ C

- (10) 次の文は、保健分野の目標に関する記述である。文中の(ア)～(エ)にあてはまる語句の正しい組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

・(ア)における健康・安全について理解するとともに、(イ)な技能を身に付けるようにする。
 ・健康についての自他の課題を発見し、よりよい(ウ)に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
 ・(エ)を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

- | | | | | |
|---|--------|-------|------|------|
| ① | ア 社会 | イ 発展的 | ウ 治療 | エ 保健 |
| ② | ア 個人生活 | イ 基本的 | ウ 解決 | エ 生涯 |
| ③ | ア 個人生活 | イ 基本的 | ウ 解決 | エ 保健 |
| ④ | ア 社会 | イ 発展的 | ウ 治療 | エ 生涯 |
| ⑤ | ア 個人生活 | イ 発展的 | ウ 解決 | エ 生涯 |

14

- (11) 次の文は、器械運動の第1学年及び第2学年に関する記述である。文中の(ア)～(エ)にあてはまる語句の正しい組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

器械運動では、生徒の技能・(ア)の程度に応じて条件を変えた技、(イ)などに挑戦するとともに、学習した基本となる技の(ウ)を高めることも器械運動の特性や(エ)に触れる上で大切であることから、(イ)の例示を示すとともに、技の(ウ)の質的变化を含めた指導内容の整理をしている。

- | | | | | |
|---|------|-------|--------|-------|
| ① | ア 能力 | イ 発展技 | ウ 難易度 | エ 美しさ |
| ② | ア 体力 | イ 基本技 | ウ 難易度 | エ 美しさ |
| ③ | ア 体力 | イ 発展技 | ウ 出来映え | エ 魅力 |
| ④ | ア 能力 | イ 基本技 | ウ 出来映え | エ 魅力 |
| ⑤ | ア 体力 | イ 発展技 | ウ 出来映え | エ 美しさ |

15

- (12) 次の文は、教科の目標についての記述である。文中の(ア)～(エ)にあてはまる語句の正しい組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

体育や保健の(ア)を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、(イ)を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かな(ウ)を実現するための(エ)を次のとおり育成することを目指す。

- | | | | | | | | | |
|---|---|---------|---|-------|---|---------|---|-------|
| ① | ア | 思考力・判断力 | イ | 精神と体力 | ウ | スポーツライフ | エ | 知識・体力 |
| ② | ア | 見方・考え方 | イ | 心と体 | ウ | 生涯スポーツ | エ | 資質・能力 |
| ③ | ア | 思考力・判断力 | イ | 精神と体力 | ウ | 生涯スポーツ | エ | 知識・体力 |
| ④ | ア | 見方・考え方 | イ | 心と体 | ウ | スポーツライフ | エ | 資質・能力 |
| ⑤ | ア | 思考力・判断力 | イ | 心と体 | ウ | スポーツライフ | エ | 資質・能力 |

【3】保健分野に関する内容について、次の問いに答えよ。

(1) 次の文は、健康な生活と病気の予防に関する記述である。正誤の適正な組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

ア 医薬品の主作用を最大限に働かせるためには、効果に応じて、使用量を自分で調節しながら使うことが望ましい。

イ 国では厚生労働省が中心となり、日本国憲法第26条の規定に基づいて、人々の健康を守るためのさまざまな活動を行っている。

ウ 保健所は専門的で広い地域にわたる保健サービスを中心に活動し、保健センターは地域住民に対する身近な保健サービスを中心に活動している。

エ 病気にかかったときは、まず、大学病院などの専門的な病院を受診するのがよい。

オ 今日では、バリアフリーやユニバーサルデザインの町づくりなど、誰もが健康・安全で快適に暮らせる町づくりが進んでいる。

- | | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① | ア × | イ × | ウ ○ | エ × | オ ○ |
| ② | ア × | イ × | ウ × | エ ○ | オ × |
| ③ | ア × | イ ○ | ウ ○ | エ × | オ ○ |
| ④ | ア ○ | イ ○ | ウ × | エ ○ | オ ○ |
| ⑤ | ア ○ | イ × | ウ ○ | エ × | オ × |
| ⑥ | ア ○ | イ ○ | ウ × | エ ○ | オ × |

17

(2) 次の文は、心の発達に関する記述である。文中の(ア)～(オ)にあてはまる語句の適正な組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

心は、知的機能、(ア)、社会性などの働きが関わり合って成り立っており、こうした心の働きは、(イ)で営まれている。

多くの人との関わりや読書、(ウ)、自然体験など、さまざまな(エ)や学習を通して(イ)に(オ)を与えることで、心は生き生きと豊かに発達していく。

- | | | | | | |
|---|--------|------|--------|------|------|
| ① | ア 運動機能 | イ 小脳 | ウ 睡眠 | エ 記憶 | オ 栄養 |
| ② | ア 情意機能 | イ 小脳 | ウ スポーツ | エ 経験 | オ 刺激 |
| ③ | ア 運動機能 | イ 小脳 | ウ 睡眠 | エ 経験 | オ 栄養 |
| ④ | ア 情意機能 | イ 大脳 | ウ スポーツ | エ 記憶 | オ 刺激 |
| ⑤ | ア 運動機能 | イ 大脳 | ウ 睡眠 | エ 記憶 | オ 栄養 |
| ⑥ | ア 情意機能 | イ 大脳 | ウ スポーツ | エ 経験 | オ 刺激 |

18

(3) 次の文は、食生活と健康に関する記述である。正誤の適正な組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ア カルシウムの不足は、骨や歯の発育不良につながる。
- イ 脂肪のとりすぎは、肥満につながる。
- ウ ナトリウムの不足は、高血圧につながる。
- エ ビタミンAの不足は、視力低下につながる。
- オ たんぱく質の不足は、貧血につながる。

- | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | ア | ○ | イ | × | ウ | × | エ | × | オ | ○ |
| ② | ア | × | イ | ○ | ウ | × | エ | ○ | オ | × |
| ③ | ア | × | イ | ○ | ウ | ○ | エ | × | オ | ○ |
| ④ | ア | ○ | イ | ○ | ウ | × | エ | ○ | オ | ○ |
| ⑤ | ア | ○ | イ | × | ウ | ○ | エ | × | オ | × |
| ⑥ | ア | × | イ | × | ウ | ○ | エ | ○ | オ | × |

19

(4) 次の語句は、傷害の原因と防止に関するものである。A「人的要因」、B「環境要因」のどれに当たるか、適正な組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ア 寝坊して急いで走っている。
- イ 電灯がなく暗くて見えない。
- ウ 刃物が机の上に置かれている。
- エ クーラーもなく暑すぎる。
- オ ルールを守らず行動している。

- | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | ア | A | イ | B | ウ | B | エ | A | オ | A |
| ② | ア | A | イ | A | ウ | B | エ | B | オ | B |
| ③ | ア | A | イ | B | ウ | B | エ | B | オ | A |
| ④ | ア | B | イ | A | ウ | A | エ | A | オ | B |
| ⑤ | ア | B | イ | B | ウ | A | エ | B | オ | B |
| ⑥ | ア | B | イ | A | ウ | A | エ | A | オ | A |

20

(5) 心肺蘇生の手順について、(ア)～(ウ) にあてはまる語句の適正な組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

周囲の安全確認 → 反応の確認 → 協力の要請 (協力者に119番通報とAEDを依頼できたか) → 呼吸の観察 → (ア) → (イ) の準備 → (ウ) → (イ) → (ア) と (イ) の組み合わせ

- | | | | |
|---|--------|--------|--------|
| ① | ア 人工呼吸 | イ 胸骨圧迫 | ウ 気道確保 |
| ② | ア 人工呼吸 | イ 気道確保 | ウ 胸骨圧迫 |
| ③ | ア 胸骨圧迫 | イ 気道確保 | ウ 人工呼吸 |
| ④ | ア 気道確保 | イ 胸骨圧迫 | ウ 人工呼吸 |
| ⑤ | ア 胸骨圧迫 | イ 人工呼吸 | ウ 気道確保 |
| ⑥ | ア 気道確保 | イ 人工呼吸 | ウ 胸骨圧迫 |

21

(6) 次の文は、感染症の例とその特徴に関する記述である。(ア)～(オ) にあてはまる語句の適正な組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ・インフルエンザの主な症状は発熱で、病原体の潜伏期間は (ア) である。
- ・ノロウイルス感染症の主な症状は (イ) などで、病原体の潜伏期間は1～2日である。
- ・はしかの主な症状はせきで、病原体の潜伏期間は (ウ) である。
- ・マラリアの主な症状は高熱で、病原体の潜伏期間は (エ) である。
- ・結核の主な症状は (オ) で、病原体の潜伏期間は数ヶ月以上である。

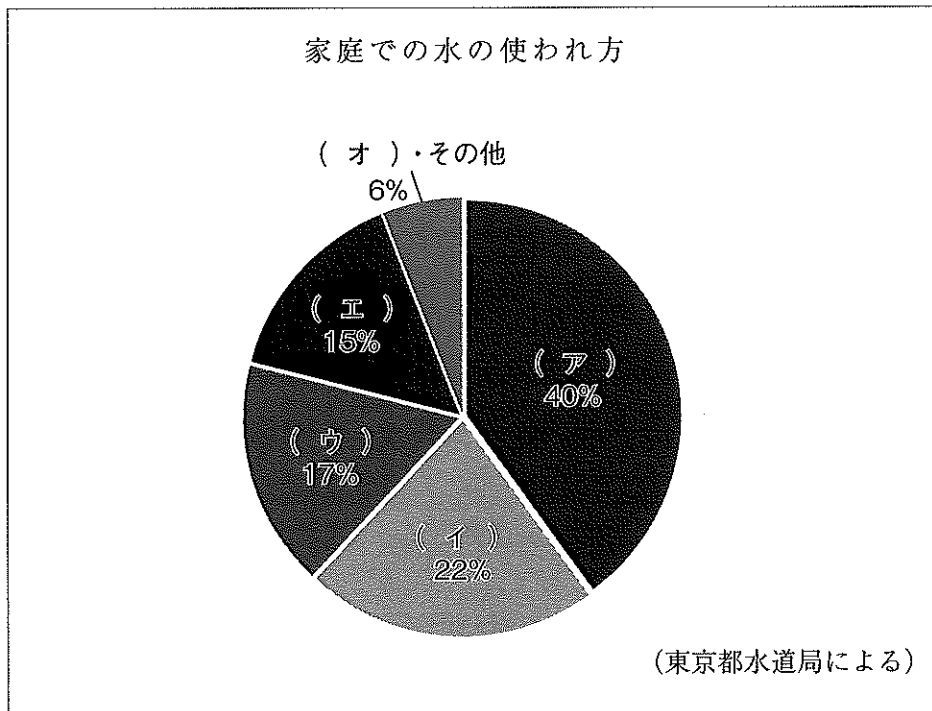
- | | | | | | |
|---|---------|-------|----------|---------|------|
| ① | ア 8～10日 | イ せき | ウ 3～5日 | エ 1週間以上 | オ 発疹 |
| ② | ア 5～7日 | イ 関節痛 | ウ 0～2日 | エ 3日以内 | オ たん |
| ③ | ア 1～3日 | イ おう吐 | ウ 10～12日 | エ 1週間以上 | オ せき |
| ④ | ア 1～3日 | イ 関節痛 | ウ 3～5日 | エ 2ヶ月以上 | オ たん |
| ⑤ | ア 5～7日 | イ せき | ウ 10～12日 | エ 2ヶ月以上 | オ 発疹 |
| ⑥ | ア 8～10日 | イ おう吐 | ウ 0～2日 | エ 3日以内 | オ せき |

22

(7) 次の表とグラフは、家庭での水の使用量を表している。グラフ中の(ア)～(オ)にあてはまる語句の適正な組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

用途	使用時間・回数	使用量
トイレ	大1回	12～20リットル
	小1回	8～12リットル
風呂	風呂おけ1杯	180リットル
	シャワー3分間流しっぱなし	36リットル
洗濯	全自動洗濯機1回	110～120リットル
炊事	5分間流しっぱなし	60リットル
洗顔手洗い	1分間流しっぱなし	12リットル
歯磨き	30秒間流しっぱなし	6リットル

(環境省による)



(東京都水道局による)

- | | | | | | |
|---|-------|-------|------|------|------|
| ① | ア トイレ | イ 風呂 | ウ 洗顔 | エ 炊事 | オ 洗濯 |
| ② | ア 風呂 | イ トイレ | ウ 洗濯 | エ 炊事 | オ 洗顔 |
| ③ | ア トイレ | イ 風呂 | ウ 炊事 | エ 洗顔 | オ 洗濯 |
| ④ | ア 風呂 | イ トイレ | ウ 炊事 | エ 洗濯 | オ 洗顔 |
| ⑤ | ア トイレ | イ 風呂 | ウ 洗濯 | エ 洗顔 | オ 炊事 |
| ⑥ | ア 風呂 | イ トイレ | ウ 洗顔 | エ 洗濯 | オ 炊事 |

(8) 次の語句は、環境汚染物質に関するものである。A「大気汚染物質」、B「水質汚濁物質」のどれに当たるか、適正な組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ア 有機水銀
- イ カドミウム
- ウ 硫黄酸化物
- エ シアン
- オ 窒素酸化物

- | | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① | ア B | イ B | ウ A | エ B | オ A |
| ② | ア A | イ B | ウ A | エ B | オ B |
| ③ | ア B | イ B | ウ A | エ A | オ A |
| ④ | ア A | イ A | ウ B | エ A | オ B |
| ⑤ | ア B | イ A | ウ B | エ A | オ B |
| ⑥ | ア A | イ A | ウ B | エ B | オ A |

24

(9) 次の文は、ストレスへの対処の仕方に関する記述である。ストレスへの対処法の適切なものとして正誤の適正な組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ア 趣味などで気分転換をする。
- イ 他人のせいにする。
- ウ 周りの人や自分を攻撃する。
- エ 見方や考え方を変える。
- オ ひたすら我慢する。

- | | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① | ア ○ | イ ○ | ウ × | エ × | オ ○ |
| ② | ア ○ | イ × | ウ × | エ ○ | オ × |
| ③ | ア ○ | イ ○ | ウ × | エ ○ | オ × |
| ④ | ア × | イ × | ウ ○ | エ × | オ ○ |
| ⑤ | ア × | イ ○ | ウ ○ | エ × | オ × |
| ⑥ | ア × | イ × | ウ ○ | エ ○ | オ ○ |

25

(10) 次の文は、生活習慣病に関する記述である。ア～オにあてはまる病気の適正な組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ア 正常な細胞の遺伝子がきずついて変化した細胞が無秩序に増殖し、器官の働きを侵す。
- イ 心臓の血管が狭くなって起こる。
- ウ 血液に含まれるブドウ糖の量が異常に多くなる。
- エ 脳の血管が破れて起こる。
- オ 心臓の血管が詰まって起こる。

- | | | | | |
|---|----------------|-------|---------|-------|
| ① | ア アレルギー | イ 高血圧 | ウ 脂質異常症 | エ 脳出血 |
| | オ メタボリックシンドローム | | | |
| ② | ア がん | イ 高血圧 | ウ 糖尿病 | エ 脳梗塞 |
| | オ 心筋梗塞 | | | |
| ③ | ア アレルギー | イ 高血圧 | ウ 脂質異常症 | エ 脳梗塞 |
| | オ メタボリックシンドローム | | | |
| ④ | ア がん | イ 狭心症 | ウ 糖尿病 | エ 脳梗塞 |
| | オ 心筋梗塞 | | | |
| ⑤ | ア アレルギー | イ 狭心症 | ウ 脂質異常症 | エ 脳出血 |
| | オ メタボリックシンドローム | | | |
| ⑥ | ア がん | イ 狭心症 | ウ 糖尿病 | エ 脳出血 |
| | オ 心筋梗塞 | | | |

- (11) 次の文は、性感染症に関する記述である。文中の（ア）～（オ）にあてはまる語句の適正な組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

性感染症の病原体は、感染者の精液、膣分泌液、（ア）などの体液や、性器や口などの（イ）やその周辺の皮膚に存在する。近年では、（ウ）感染症を中心に、特に若い世代で感染率が高いことが問題となっている。

性感染症を治療せずに放置していると、不妊症や（エ）の原因になったりする。また、母親から胎児に（オ）することもある。

- | | | | | | |
|---|------|------|-----------|----------|--------|
| ① | ア 汗 | イ 線毛 | ウ 溶血連鎖球菌 | エ 前立腺肥大症 | オ 飛沫感染 |
| ② | ア 血液 | イ 粘膜 | ウ 性器クラミジア | エ 子宮外妊娠 | オ 母子感染 |
| ③ | ア 汗 | イ 粘膜 | ウ 溶血連鎖球菌 | エ 子宮外妊娠 | オ 母子感染 |
| ④ | ア 血液 | イ 線毛 | ウ 性器クラミジア | エ 前立腺肥大症 | オ 飛沫感染 |
| ⑤ | ア 汗 | イ 線毛 | ウ 性器クラミジア | エ 子宮外妊娠 | オ 飛沫感染 |
| ⑥ | ア 血液 | イ 粘膜 | ウ 溶血連鎖球菌 | エ 前立腺肥大症 | オ 母子感染 |

27

- (12) 次の文は、積乱雲に伴う災害に関する記述である。正誤の適正な組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

ア 竜巻に備えて、頑丈な建物の中の窓際に避難する。

イ 落雷に備えて、近くに安全な空間がない場合は、木や電柱から4 m以上離れた保護範囲に退避する。

ウ 急な大雨に備えて、地下歩道で雨宿りをする。

エ 落雷に備えて、建物や自動車の中へ避難する。

オ 急な大雨に備えて、すぐに水辺から離れる。

- | | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① | ア × | イ × | ウ × | エ ○ | オ ○ |
| ② | ア ○ | イ × | ウ ○ | エ × | オ × |
| ③ | ア × | イ × | ウ × | エ × | オ ○ |
| ④ | ア ○ | イ ○ | ウ ○ | エ × | オ × |
| ⑤ | ア × | イ ○ | ウ × | エ ○ | オ ○ |
| ⑥ | ア ○ | イ ○ | ウ ○ | エ ○ | オ × |

28

- (13) 次の文は、中高年期と健康に関する記述である。文中の（ア）～（オ）にあてはまる語句の適正な組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

年をとることにともなって起こる心身のおとろえが（ア）である。ただし、おとろえることばかりでなく、総合的で的確な判断をくだせる能力などは向上していく。こうした変化のあらわれ方や進み方には（イ）がある。

中高年期の健康は、若いころからの（ウ）に左右される。また、若い時期にカルシウムを十分にとり適度な運動をおこなうことが、中高年に多くみられる（エ）の予防につながる。

さらに、中高年期を健康に過ごすためには、定期的に（オ）を受けること、生きがいをもっていきいきと生活することの重要性を忘れてはならない。

- | | | | | | |
|---|------|-------|--------|----------|-----------|
| ① | ア 老化 | イ 個人差 | ウ 生活習慣 | エ 骨粗しょう症 | オ 健康診断 |
| ② | ア 寿命 | イ 個人差 | ウ 運動量 | エ くる病 | オ 健康診断 |
| ③ | ア 老化 | イ 法則性 | ウ 生活習慣 | エ くる病 | オ 健康診断 |
| ④ | ア 寿命 | イ 法則性 | ウ 運動量 | エ 骨粗しょう症 | オ カウンセリング |
| ⑤ | ア 老化 | イ 個人差 | ウ 生活習慣 | エ 骨粗しょう症 | オ カウンセリング |
| ⑥ | ア 寿命 | イ 法則性 | ウ 運動量 | エ くる病 | オ 健康診断 |

29

- (14) 次の文は、薬物乱用に関する記述である。正誤の適正な組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

ア 薬物乱用とは、医薬品を医療の目的から外れて使用したり、医療が目的ではない薬物を不正に使用したりすることをいい、1回の使用でも乱用という。

イ 薬物乱用は、周囲の人に影響を及ぼさないの、乱用する本人だけの問題である。

ウ 覚せい剤の乱用を繰り返すと、体が痩せ衰えたり、歯が抜けたりする。

エ 大麻の乱用を繰り返すと、思考力が低下したり、白血球数が減少したりする。

オ 薬物の依存性は弱いので、乱用を繰り返しても自分の意志でやめることができる。

- | | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① | ア × | イ ○ | ウ × | エ ○ | オ ○ |
| ② | ア ○ | イ ○ | ウ ○ | エ × | オ ○ |
| ③ | ア × | イ ○ | ウ × | エ ○ | オ × |
| ④ | ア ○ | イ × | ウ ○ | エ ○ | オ × |
| ⑤ | ア × | イ × | ウ × | エ × | オ ○ |
| ⑥ | ア ○ | イ × | ウ ○ | エ × | オ × |

30

(15) 次の文は、思春期の特徴に関する記述である。正誤の適正な組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ア 親や周囲の大人に対して、「子供扱いしないでほしい」という気持ちが強くなる。
- イ 自分自身を一つの対象として見つめなくなる。
- ウ 大人に保護され依存していた状態から抜け出して、自立した大人へと歩み始めようとする。
- エ 悩みや不安、希望など、何でも話せる親友が欲しくなる。
- オ 自分と同じように感じ、考える人がいることを知れば、不安になる。

- | | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① | ア × | イ ○ | ウ × | エ ○ | オ ○ |
| ② | ア ○ | イ × | ウ ○ | エ ○ | オ × |
| ③ | ア × | イ ○ | ウ × | エ × | オ ○ |
| ④ | ア ○ | イ ○ | ウ × | エ × | オ × |
| ⑤ | ア × | イ × | ウ ○ | エ × | オ × |
| ⑥ | ア ○ | イ × | ウ ○ | エ ○ | オ ○ |

【4】 体育分野に関する内容について、次の問いに答えよ。

(1) 体づくり運動の「体力を高める運動」として、正誤の適正な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

ア 上体をひねりながら大またで歩く運動は、「体の柔らかさを高めるための運動」である。



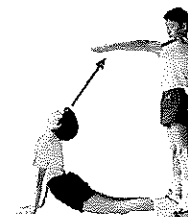
イ 輪を水平に投げて、的となる人に輪を通す運動は、「巧みな動きを高めるための運動」である。



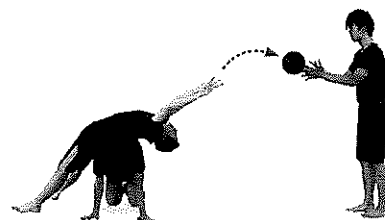
ウ 腕立て伏せの上体で、両手の位置を変えながらじゃんけんする運動は、「力強い動きを高めるための運動」である。



エ 自分の足首の位置に立つ人の手が見えるまで、からだを後屈させる運動は、「巧みな動きを高めるための運動」である。



オ ブリッジの姿勢で背中にのり、ボールを投げたり受け取ったりする運動は、「力強い動きを高めるための運動」である。



- | | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① | ア ○ | イ × | ウ × | エ ○ | オ × |
| ② | ア × | イ ○ | ウ ○ | エ × | オ ○ |
| ③ | ア × | イ ○ | ウ × | エ ○ | オ ○ |
| ④ | ア ○ | イ ○ | ウ ○ | エ × | オ × |
| ⑤ | ア ○ | イ × | ウ ○ | エ × | オ × |

(2) 器械運動の履修順序として、適切でないものを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ① (跳び箱) 頭はね跳び → 前方屈腕倒立回転跳び → 側方倒立回転跳び
- ② (マット) 前転 → 跳び前転 → 倒立前転
- ③ (鉄 棒) 前方かかえ込み回り → 前方支持回転 → 前方伸膝支持回転
- ④ (マット) 後転 → 開脚後転 → 伸膝後転
- ⑤ (跳び箱) 開脚跳び → かかえ込み跳び → 屈身跳び
- ⑥ (鉄 棒) 転向前下り → 踏み越し下り → 支持跳び越し下り

33

(3) 次の文は、陸上競技におけるルールに関する記述である。正誤の適正な組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

ア ハードル走において、わざと手や足で倒したときは失格となる。

イ 走り高跳びにおいて、両足で跳躍すると失格となる。

ウ リレーにおいて、バトンパス中に次走者の手にバトンがふれてから落とした場合は、バトンは前走者が拾わなければバトンパスが成立しない。

エ 走り幅跳びにおいて、とんぼ返りのような跳び方をしたときは1回の無効試技となる。

オ リレーにおいて、テークオーバーゾーンの入り口のラインはゾーン内に含まれる。

- ① ア × イ ○ ウ × エ × オ ×
- ② ア ○ イ ○ ウ ○ エ × オ ○
- ③ ア × イ × ウ ○ エ ○ オ ×
- ④ ア ○ イ × ウ × エ ○ オ ○
- ⑤ ア × イ × ウ ○ エ × オ ○
- ⑥ ア ○ イ ○ ウ × エ ○ オ ×

34

(4) 陸上競技における走り高跳びの順位について、適正な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

選手	記録	1.30m	1.35m	1.40m	1.45m	1.50m	1.55m	1.60m
ア	1.55	-	-	-	×○	××○	×○	×××
イ	1.50	-	×○	×○	○	×○	×××	×××
ウ	1.55	×-	×○	×○	×○	×○	××○	×××
エ	1.55	○	-○	×○	○	××○	○	×××
オ	1.55	-	-	-	×○	×○	××○	×××

- ① ア 1位 イ 5位 ウ 4位 エ 2位 オ 3位
 ② ア 2位 イ 5位 ウ 3位 エ 1位 オ 4位
 ③ ア 1位 イ 4位 ウ 5位 エ 2位 オ 3位
 ④ ア 2位 イ 5位 ウ 4位 エ 1位 オ 3位
 ⑤ ア 2位 イ 4位 ウ 3位 エ 1位 オ 5位

35

(5) 次の文は、水泳競技のルールに関する記述である。正誤の適正な組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

ア 個人メドレーにおいて、自由形の泳法は、自由に決めることができる。

イ 平泳ぎにおいて、スタートとターン直後、体全体が水面下にあるときに限り、1回のドルフィンキックが許される。

ウ 背泳ぎの競技中は、頭をのぞくどの部分も、水面に対して90度未満の仰向けの姿勢を保つ。

エ バタフライのターン及びゴールタッチでは、泳者の体の一部が壁に触れなければならない。

オ メドレーリレーは、4名の泳者がバタフライ→平泳ぎ→背泳ぎ→自由形の順に泳ぐ。

- ① ア × イ ○ ウ ○ エ × オ ×
 ② ア ○ イ ○ ウ × エ × オ ○
 ③ ア × イ × ウ ○ エ ○ オ ×
 ④ ア ○ イ × ウ × エ ○ オ ○
 ⑤ ア × イ × ウ ○ エ × オ ○
 ⑥ ア ○ イ ○ ウ × エ ○ オ ×

36

(6) 次の文は、バスケットボール競技のルールに関する記述である。A「バイオレーション」、B「パーソナルファウル」、C「テクニカルファウル」のどれに当たるか、適正な組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ア 相手を押さえる。
- イ スローインでラインを踏み越す。
- ウ 攻撃側が相手のバスケット側の制限区域に3秒を超えてとどまる。
- エ ボールを拳でたたき、故意に蹴る、足で止める。
- オ 審判や相手チームに失礼な態度をとる。
- カ 相手の進行を妨げる。

- | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | ア | A | イ | B | ウ | C | エ | C | オ | A | カ | C |
| ② | ア | A | イ | C | ウ | A | エ | B | オ | B | カ | C |
| ③ | ア | B | イ | B | ウ | C | エ | A | オ | C | カ | A |
| ④ | ア | C | イ | A | ウ | B | エ | C | オ | A | カ | B |
| ⑤ | ア | B | イ | A | ウ | A | エ | A | オ | C | カ | B |
| ⑥ | ア | C | イ | C | ウ | B | エ | B | オ | A | カ | A |

37

(7) バスケットボール競技の基本用語として、適切でないものを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ① ピボットターン ② ノーチャージセミサークル ③ イリーガルドリブル
- ④ イリーガルユースオブハンズ ⑤ ダブルコンタクト ⑥ ブロッキング

38

(8) 次の文は、サッカー競技のルールに関する記述である。プレイの再開方法として正誤の適正な組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

ア ボールをプレイしていない時に相手の進路を妨害したので、直接フリーキックで再開した。

イ 防御側のプレイヤーが、自陣のペナルティエリア内で、ボールを意図的に手で扱ったので、ペナルティキックで再開した。

ウ ボールがタッチラインを完全に越えて外に出たので、スローインで再開した。

エ シュートしたボールが、防御側のプレイヤーに最後に触れて、ゴール外のゴールラインを完全に越えて外に出たので、コーナーキックで再開した。

オ 攻撃側がシュートしてゴールインが認められたので、キックオフで再開した。

カ ペナルティエリア外で、手や体で相手を押したり、押さえたりしたので、間接フリーキックで再開した。

- | | | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① | ア ○ | イ ○ | ウ × | エ ○ | オ × | カ × |
| ② | ア × | イ ○ | ウ × | エ × | オ ○ | カ ○ |
| ③ | ア ○ | イ × | ウ × | エ ○ | オ ○ | カ × |
| ④ | ア × | イ ○ | ウ ○ | エ ○ | オ ○ | カ × |
| ⑤ | ア ○ | イ × | ウ ○ | エ × | オ × | カ ○ |
| ⑥ | ア × | イ × | ウ ○ | エ × | オ ○ | カ ○ |

39

(9) 次の文は、サッカーの技術に関する記述である。正誤の適正な組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

ア チップキックとは、防御者の背後のスペースなどに、急上昇させたボールを蹴る時に使う技術である。

イ ボレーキックとは、空中にあるボールを直接蹴る時に使う技術である。

ウ オーバーラップとは、サポートの動きによって、いったん後ろに下がることでできた前方のスペースを利用したい時に使う技術である。

エ インステップキックとは、弱いボールを蹴りたいときや、ボールを近くに飛ばしたい時に使う技術である。

オ ワントラップシュートとは、パスを受けて相手のマークを外してシュートしたい時に使う技術である。

カ トラッピングとは、浮いているボールを自分の足元にコントロールしたい時に使う技術である。

- | | | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① | ア × | イ ○ | ウ × | エ ○ | オ × | カ ○ |
| ② | ア ○ | イ ○ | ウ ○ | エ × | オ ○ | カ ○ |
| ③ | ア × | イ × | ウ ○ | エ ○ | オ ○ | カ ○ |
| ④ | ア × | イ ○ | ウ × | エ × | オ × | カ × |
| ⑤ | ア ○ | イ × | ウ × | エ × | オ × | カ × |
| ⑥ | ア ○ | イ × | ウ ○ | エ ○ | オ ○ | カ × |

40

(10) 次の文は、ハンドボール競技のルールに関する記述である。正誤の適正な組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ア 手のひらを開いて相手が保持するボールをたたき落としてもよい。
- イ ボールを持って3歩までは移動できる。
- ウ 走りながら空中でボールをキャッチした場合、着地は1歩に数えられる。
- エ ボールは3秒まで保持できる。
- オ ボールを膝で蹴ることは認められていない。
- カ 明らかな得点チャンスが防御側の反則で妨害された場合、7 mスローが相手チームに与えられる。

- | | | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① | ア × | イ × | ウ ○ | エ ○ | オ ○ | カ × |
| ② | ア ○ | イ ○ | ウ × | エ × | オ × | カ × |
| ③ | ア ○ | イ × | ウ ○ | エ × | オ ○ | カ ○ |
| ④ | ア ○ | イ ○ | ウ × | エ ○ | オ ○ | カ ○ |
| ⑤ | ア × | イ × | ウ ○ | エ × | オ ○ | カ × |
| ⑥ | ア ○ | イ ○ | ウ × | エ ○ | オ × | カ ○ |

41

(11) 次の文は、バレーボールの6人制のルールに関する記述である。正誤の適正な組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ア サービスは主審のホイッスルのあと10秒以内にサービスゾーンから行う。
- イ サービス権を得たチームは新たにバックセンターの位置についた者がサービスを行う。
- ウ リベロプレーヤーが、フロントゾーンでオーバーハンドパスしたボールをネットの上端より高い位置でアタックヒットすることができる。
- エ サービスボールがネットに触れて相手コートに入った場合はアウトになる。
- オ ブロックの場合を除いて、2人のプレーヤーが同時にボールに触れた場合は、チームとして2回ボールに触れたことになる。
- カ ペネトレーションフォールトとは、足がセンターラインを完全に越えて相手コートに触れることである。

- | | | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① | ア × | イ × | ウ ○ | エ ○ | オ ○ | カ × |
| ② | ア ○ | イ ○ | ウ ○ | エ × | オ × | カ ○ |
| ③ | ア × | イ × | ウ × | エ × | オ ○ | カ ○ |
| ④ | ア ○ | イ ○ | ウ ○ | エ × | オ × | カ × |
| ⑤ | ア ○ | イ × | ウ × | エ × | オ ○ | カ × |
| ⑥ | ア × | イ ○ | ウ ○ | エ ○ | オ × | カ ○ |

42

(12) 次の文は、バレーボールの技術に関する記述である。正誤の適正な組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

ア スパイクとは、相手コートに強いボールで返球して、得点したい時に使う技術である。

イ プッシュ（フェイント）とは、強打と見せかけてボールを指先で柔らかく突き、ブロッカーの後方など、レシーバーのいない所に落とす技術である。

ウ ブロックとは、相手チームが打ってくるボールをネット上で防ぎたい時に使う技術である。

エ アンダーハンドパスとは、主に低い位置に来たボールをパスする時に使う技術である。

オ ハイセットとは、攻撃せずに相手に返球する時に使う技術である。

カ Aクイックとは、トスされたボールを最も早いタイミングで打つ時に使う技術である。

- | | | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① | ア ○ | イ ○ | ウ ○ | エ ○ | オ × | カ ○ |
| ② | ア ○ | イ ○ | ウ × | エ × | オ ○ | カ × |
| ③ | ア ○ | イ × | ウ ○ | エ × | オ × | カ ○ |
| ④ | ア ○ | イ × | ウ × | エ ○ | オ × | カ × |
| ⑤ | ア × | イ × | ウ ○ | エ × | オ ○ | カ × |
| ⑥ | ア ○ | イ ○ | ウ ○ | エ ○ | オ ○ | カ ○ |

43

(13) 次の文は、卓球に関する記述である。正誤の適正な組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

ア サービスでは、ラケットを持っていないほうの手のひらを開いてボールを乗せ、手のひらから16cm以上の高さに回転を与えず垂直に上げ、落下する途中で打つ。

イ サーバーの体の一部または、着用している物で、ボールをレシーバーから隠して打つと、サーブ権が相手に移る。

ウ サービスのボールが、ネットやサポートにふれて相手コートに入った場合は、相手に1点が入る。

エ バックハンドドライブとは、バック側に来たボールを、強い前進回転をかけて返球する時に使う技術である。

オ 各ゲームは、11点先取で、10対10以降は先に2点リードしたほうが勝ちとなる。

- | | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① | ア ○ | イ ○ | ウ ○ | エ ○ | オ × |
| ② | ア × | イ ○ | ウ × | エ × | オ ○ |
| ③ | ア ○ | イ ○ | ウ ○ | エ × | オ × |
| ④ | ア ○ | イ × | ウ × | エ ○ | オ ○ |
| ⑤ | ア × | イ × | ウ ○ | エ × | オ × |
| ⑥ | ア × | イ × | ウ × | エ ○ | オ ○ |

44

(14) 次の文は、バドミントンに関する記述である。正誤の適正な組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

ア サービスは対角線側のサービスコートに入れる。サーバー側の得点が0、または偶数のときは右側、奇数のときは左側のサービスコートからサービスを行う。

イ サービス時の打点は、肩の高さより下でなければならない。

ウ サービス時に台（コルク）を打たずに羽を打つと、相手に1点入る。

エ クリアーとは、相手の頭上を高く越えてコートの後方まで深く飛ばす打ち方である。

オ ラケットや体がネットやポストにふれると、ノーカウントとなる。

- | | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① | ア ○ | イ × | ウ ○ | エ ○ | オ ○ |
| ② | ア × | イ ○ | ウ ○ | エ × | オ ○ |
| ③ | ア ○ | イ ○ | ウ × | エ ○ | オ × |
| ④ | ア × | イ ○ | ウ × | エ × | オ × |
| ⑤ | ア ○ | イ × | ウ ○ | エ ○ | オ × |
| ⑥ | ア × | イ × | ウ × | エ × | オ ○ |

45

(15) 次の文は、ソフトボールに関する記述である。正誤の適正な組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

ア プレイヤーは8人で行う競技であるが、指名選手（DP）制が採用される大会では9人である。

イ 走者は、投手が投球するとき、投手の手からボールが離れる前に塁から離れるとアウトになる。

ウ イニングとは、チームで1回ずつの攻撃と守備のことである。

エ 投球では、両手を離して両足を投手板に触れ、投球動作に入るときは体の前または横で両手を合わせて1秒以上3秒以内静止をしなければならない。

オ スリングショットモーションとは、スピードが出やすいピッチングフォームのひとつである。

- | | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① | ア × | イ ○ | ウ ○ | エ × | オ ○ |
| ② | ア ○ | イ ○ | ウ × | エ × | オ ○ |
| ③ | ア × | イ × | ウ ○ | エ ○ | オ × |
| ④ | ア ○ | イ × | ウ × | エ ○ | オ × |
| ⑤ | ア × | イ ○ | ウ × | エ × | オ ○ |
| ⑥ | ア ○ | イ × | ウ ○ | エ ○ | オ × |

46

(16) 次の文は、ソフトテニスに関する記述である。正誤の適正な組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

ア グラウンドストロークとは、ボールがバウンドする前に直接打つことである。

イ サービスでは、最初のサービス（第1サービス）を失敗したときは、さらにもう1回サービス（第2サービス）を打つことができる。

ウ 1ゲームの勝敗は、4ポイント先取制であり、両方とも3ポイントを取ったときはデュースとなり、その後2ポイントをリードするとそのゲームを得る。

エ ラケットの握り方には、ウエスタングリップとセントラルグリップとイースタングリップが使われている。

オ ロビングとは、相手の頭上を大きく越えて、コート奥の高い軌道で返球するときに使う技術である。

- | | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① | ア ○ | イ ○ | ウ × | エ ○ | オ × |
| ② | ア ○ | イ × | ウ × | エ × | オ ○ |
| ③ | ア ○ | イ × | ウ ○ | エ ○ | オ × |
| ④ | ア × | イ ○ | ウ × | エ ○ | オ ○ |
| ⑤ | ア × | イ × | ウ ○ | エ × | オ × |
| ⑥ | ア × | イ ○ | ウ ○ | エ × | オ ○ |

47

(17) 柔道の基本とする崩し・体さばき・投げ技の組合せで、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。（右組みとする。）

- | | | | | | |
|---|------|---|----------|---|---------|
| ① | 右前隅 | → | 右足前さばき | → | 支えつり込み足 |
| ② | 右前隅 | → | 右足前回りさばき | → | 体落とし |
| ③ | 前 | → | 右足前回りさばき | → | 背負い投げ |
| ④ | 右前隅 | → | 左足前さばき | → | 払い腰 |
| ⑤ | 右後ろ隅 | → | 右足前さばき | → | 小内刈り |

48

- (18) 次の文は、柔道のルールに関する記述である。正誤の適正な組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。
(国際柔道連盟試合審判規定平成30年1月現在)

- ア 試合者の一方が、相手を制しながら、「肩を大きく畳につくように」、相当な「強さ」と「速さ」をもって投げたときに、「一本」となる。
 イ 立ち勝負で、極端な防御姿勢を5秒間以上続けたときは、「指導」が与えられる。
 ウ 「抑え込み」の宣告後、20秒間逃げるができなかったときに「一本」となる。
 エ 「河津がけ」で投げたときは、「反則負け」となる。
 オ 試合者の一方が、相手をコントロールして投げ、体の上部側面が着地したときに、「有効」となる。

- | | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① | ア × | イ ○ | ウ ○ | エ ○ | オ × |
| ② | ア × | イ × | ウ ○ | エ × | オ ○ |
| ③ | ア ○ | イ ○ | ウ × | エ × | オ ○ |
| ④ | ア ○ | イ × | ウ × | エ × | オ ○ |
| ⑤ | ア × | イ × | ウ ○ | エ ○ | オ × |
| ⑥ | ア ○ | イ ○ | ウ × | エ ○ | オ × |

49

- (19) 次の文は、剣道に関する記述である。正誤の適正な組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ア 打突をした後も、油断せず次に起こるどんな変化にも直ちに対応できる身構え・心構えを「中段の構え」という。
 イ 竹刀を落とした者や、倒れた者に直ちに加えられた打突は無効である。
 ウ 試合中に場外に出た場合は反則となる。
 エ その場から一步踏み込めば相手の打突部を打てる距離であり、一步退けば相手の打突を外せる距離を「一足一刀の間合い」という。
 オ 相手の打ちに対して、抜く・すり上げるなどで相手の打ちを無効にして、すかさず打ち込む技を「応じ技」という。

- | | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① | ア × | イ ○ | ウ × | エ ○ | オ × |
| ② | ア × | イ ○ | ウ ○ | エ × | オ × |
| ③ | ア ○ | イ ○ | ウ × | エ × | オ ○ |
| ④ | ア ○ | イ × | ウ × | エ × | オ ○ |
| ⑤ | ア ○ | イ × | ウ ○ | エ ○ | オ × |
| ⑥ | ア × | イ × | ウ ○ | エ ○ | オ ○ |

50

(20) 剣道の技の中で、A「しかけ技」、B「応じ技」のどれに当たるか、適正な組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ア 引き面
- イ 面抜き胴
- ウ 出ばな小手
- エ 小手すり上げ面
- オ 払い面

- ① ア B イ A ウ A エ B オ B
- ② ア A イ B ウ B エ A オ A
- ③ ア A イ B ウ A エ B オ A
- ④ ア B イ A ウ A エ A オ B
- ⑤ ア B イ B ウ B エ A オ A
- ⑥ ア A イ A ウ B エ B オ A

51

(21) 次の文は、創作ダンスの動きの効果に関する記述である。「ユニゾン」についての説明が適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 動きを左右対称にして行うこと。
- ② 同じ動きを同時に行うこと。
- ③ 動きを左右非対称にして行うこと。
- ④ 同じ動きを輪唱のようにずらして行うこと。
- ⑤ 時計の針の進む方向と逆の方向に動くこと。

52

(22) 次の文は、ダンスに関する記述である。適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 体に「カチッ」と鍵をかけられたように止まることを入れながら、リズムカルに踊るダンスを「ロックダンス」という。
- ② 「アフタービート」とは、強拍と弱拍の通常的位置関係を変えて、音楽のリズムに緊張感を生み出す手法のことをいう。
- ③ アフリカからアメリカに渡ってきた人々の音楽とダンスが発展したもの。身体の各部位が別々のリズムで連動し、腰のひねりなどの独特の動きが入るダンスを「ジャズダンス」という。
- ④ バレエの形式を否定した舞踊の最も基本的なもの。バレエがステップや形式が決まっているのに対して、自然な運動であるダンスを「モダンダンス」という。
- ⑤ 「ヒップホップ」は、一般的にロックよりテンポが遅く、1拍ごとにアクセントを入れたり、強いアクセントがある強いビートをとらえることが特徴である。

【5】 体育理論に関する内容について次の問いに答えよ。

(1) 次の文は、スポーツの始まりと発展に関する記述である。正誤の適正な組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

ア スポーツは、気晴らしや楽しみ、遊びなどを表す言葉が語源と言われている。

イ 中世には上流階級の教養とされた。

ウ 近代には、軍隊などの訓練や国民の優位性を示す目的と結び付いて、強くたくましい体を育てたり、記録や勝利を第一に求めたりするものという捉え方が強くなった。

エ 20世紀の前半には、市民の健全な娯楽や青少年の教育として競技スポーツが形づくられた。

オ 現在では、健康づくりや余暇活動も含めて、広く捉えられている。

- | | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① | ア ○ | イ × | ウ ○ | エ ○ | オ × |
| ② | ア ○ | イ ○ | ウ × | エ × | オ ○ |
| ③ | ア ○ | イ × | ウ × | エ × | オ × |
| ④ | ア × | イ ○ | ウ ○ | エ × | オ ○ |
| ⑤ | ア × | イ × | ウ ○ | エ ○ | オ × |
| ⑥ | ア × | イ ○ | ウ × | エ ○ | オ ○ |

54

(2) 次の文は、練習やトレーニングの原理と原則に関する記述である。適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 「オーバーロード（過負荷）の原理」とは、練習やトレーニングによって技能や体力を向上させるためには、それまでにおこなっていた運動より難度や強度の高い運動を行うことである。
- ② 「可塑性」とは、脳や筋肉が環境の変化に適応して自分をつくり変える能力のことである。
- ③ 「超回復」とは、難度や強度が高い運動を行うと、疲労によって前よりも高いレベルにまで回復することである。
- ④ 「全面性」とは、練習やトレーニングにあたっては、心身の機能が調和を保ちながら全面的に高まるようにすることである。
- ⑤ 「特異性」とは、練習やトレーニングの効果があらわれるには時間がかかるので、技能や体力の向上のようすをみながら、無理をしないで練習やトレーニングの内容を徐々に高めていくことである。

55

(3) 次の語句は、体力を構成する要素である。体力には、「健康に生活するための体力」と「運動を行うための体力」がある。そのうち、「健康に生活するための体力」の適正な組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

ア 筋力	イ 筋持久力	ウ 全身持久力	エ 敏しょう性
オ スピード	カ 瞬発力	キ 巧緻性	ク 柔軟性

- ① ア、ウ、キ
- ② イ、エ、キ
- ③ エ、オ、ク
- ④ ア、エ、オ、カ
- ⑤ ア、イ、ウ、ク
- ⑥ イ、ウ、エ、カ

- (4) 次の文は、スポーツと社会性に関する記述である。(ア)～(オ)にあてはまる語句の適正な組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

スポーツの（ア）は、公正さや楽しさと安全を保障するために決められたものである。
 スポーツにおける（イ）は、スポーツをより楽しく行うためのものである。
 スポーツでは、その楽しさや価値を味わうために、公正に行うことや全力を尽くすことが求められる。
 お互いが全力を出して競い合えるよう、ルールを守り、相手を尊重し、よいマナーでプレイすることを、（ウ）という。また、チームの目的を達成するために最善を尽くし、それぞれの人が役割を分担して協力し合うことを（エ）という。
 スポーツを行う人には、ルールを守る、さまざまな人に配慮する、仲間を大切にする、他人を尊重するといったことが求められる。このような態度や考え方を（オ）という。

- | | | | |
|---|-------------|-------------|-------------|
| ① | ア マナー | イ ルール | ウ フェアプレイ |
| | エ チームワーク | オ スポーツマンシップ | |
| ② | ア ルール | イ マナー | ウ スポーツマンシップ |
| | エ フェアプレイ | オ チームワーク | |
| ③ | ア マナー | イ ルール | ウ スポーツマンシップ |
| | エ フェアプレイ | オ チームワーク | |
| ④ | ア ルール | イ マナー | ウ チームワーク |
| | エ スポーツマンシップ | オ フェアプレイ | |
| ⑤ | ア マナー | イ ルール | ウ チームワーク |
| | エ スポーツマンシップ | オ フェアプレイ | |
| ⑥ | ア ルール | イ マナー | ウ フェアプレイ |
| | エ チームワーク | オ スポーツマンシップ | |

(5) 次の文は、スポーツの技術と戦略に関する記述である。A「戦術」、B「作戦」、C「技術」のどれに当たるか、適正な組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

ア バレーボール

前衛選手3人と後衛選手2人がW字型に並び、サーブレシーブ（守備）及び攻撃に備えるチームの連携行動である。守備範囲が重ならないので効率よくコートカバーできる。

イ ソフトボール

先発メンバーと打順を考える。

ウ バasketボール

ほかのチームよりかなり身長が低い5人がメンバーである。試合に勝つために、攻撃面において前半からボールを奪い、速攻を狙う。

エ テニス

ネットにつめて角度のついた返球をすることによって、相手の守備範囲（打球する者にとって有効なスペース）を広げる。

オ 走り幅跳び

はさみ跳びができる。

- | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | ア | A | イ | A | ウ | B | エ | C | オ | C |
| ② | ア | B | イ | B | ウ | C | エ | A | オ | B |
| ③ | ア | A | イ | B | ウ | B | エ | A | オ | C |
| ④ | ア | A | イ | B | ウ | C | エ | B | オ | B |
| ⑤ | ア | B | イ | A | ウ | A | エ | B | オ | C |
| ⑥ | ア | B | イ | A | ウ | A | エ | C | オ | B |

